

産業経済学特論 (2単位)

担当者氏名 長澤 真史

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

現代の産業、とりわけ農林水産業を主体とする生物産業の経済的諸問題をめぐって、理論、政策、課題を分析しうる基礎的能力を養い、歴史的視点と国際的視点をまじえて、わが国産業構造の現状と展望を習得する。特に近年のリーマンショック以降の経済危機のもとで、わが国の産業構造の展開とその特徴にも焦点をあて、今後の新たな経済システムのあり方を検討する。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載) ご自身のキーワードを記入してください

| | | | |
|-------|-------------|------|-------|
| 現代の産業 | 農林水産業 | 産業政策 | 地域活性化 |
| 地域資源 | WTO・FTA・TPP | 協同組合 | |

◆授業の進行等について

| | テ ー マ | 内 容 | 準備学習(予習復習)等の内容と分量 |
|---|-------------------------|---|--------------------------------------|
| 1 | ガイダンス (第1週) | 産業経済学の課題と方法など | ◎本授業のねらいは、現代 |
| 2 | 現代産業の展開構造と現局面 (第2～4週) | わが国産業構造の発展過程を考察し、90年代不況から近年に至る現局面において、産業再編、産業政策の課題の基礎的知識を修得する。 | 産業の諸事象の適切な把握と現れるに至る要因分析を基礎に、地域農林水産業の |
| 3 | 欧米の産業構造との比較 (第5～6週) | 世界的な経済危機が欧米でどのように現れ、わが国の産業構造との差異について学ぶ。 | 経済的諸問題を積極的なディスカッションを通じて |
| 4 | 地域生物産業の基本構造 (第7～10週) | 地域生物産業、とりわけ地域農林水産業を対象に、展開過程、地域資源活用型付加価値戦略、地域活性化方策について修得する。 | 修得する。◎日々生起している様々な経済現象を新聞、文献等で理解しておく |
| 5 | 産業・経済システムのあり方 (第11～13週) | 経済危機を解決し、さらに農業・環境問題を位置つけた新たな産業・経済システムのあり方を学ぶ。 | こと。講義の際の最初に報告してもらい、不明確な場合は復習を課する。 |
| 6 | 総括とテスト (第14～15週) | グローバル経済下における地域農林水産業、WTO・FTAと国際農林水産物市場の動向、地域活性化視点から見た地域農水産業の発展方向を修得する。 | |

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名/著者/発行所 (発行年)

基本文献を紹介し、必要な文献・資料は配付する。

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所 (発行年)

講義の際に随時指示する。

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト)

小テスト (70点)、小レポート (30点)

◆オフィスアワー

毎週水曜日5限目、研究室にて受け付ける。

◆その他受講上の注意事項

あくまでも主体的かつ積極的な修学態度を重視する。